

AI for Science が 加速する マテリアル革新

ARIM データが拓く新時代

2026年

9/2

水

14:00 - 16:30

JASIS 2026 会場内(幕張メッセ)

国際会議場2階 201会議室

主催: マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM)

PROGRAM

- 14:00 ● 開会挨拶
服部 正 文部科学省 研究振興局 参事官
(ナノテクノロジー・物質・材料担当)
- 14:10 ● 招待講演
AI for Scienceの最前線:
AIによって科学研究の手法はどう変わるのか?
中田 寿穂 日本マイクロソフト株式会社 シニアカスタマーサクセスマネージャー
- 15:10 ● 計測横断セッション
計測データマイニングによるARIM支援:
ノイズ、統計、定量、可視化、マルチモーダル化
武藤 俊介 名古屋大学 名誉教授
- 15:35 ● 合成横断セッション
ARIMが進める材料合成における設備と
データの共用とその展望
河合 壮 ARIM合成横断技術代表/
奈良先端科学技術大学院大学 教授
- 16:00 ● ARIMデータ 共用サービス紹介
データ共用が拓くARIM研究支援の新時代
村山 宣光 ARIMデータコーディネータ/名古屋大学 特任教授
- 16:20 ● クロージング
藤ヶ谷 剛彦 ARIM運営機構長/九州大学 教授

高品質な実実験データと
最先端AIの融合がもたらす、
科学研究の最前線

参加申込

⚠ 8月4日(火) 10時~受付開始
定員に達し次第、受付を終了いたします。

参加無料



【問い合わせ先】



ARIM Japan

文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業

物質・材料研究機構 ARIMセンターハブ担当領域推進室事務局
arim-gyomu@nims.go.jp

AI for Science が加速する マテリアル革新

ARIMデータが拓く
新時代

2026年 9月2日(水) 14:00-16:30

JASIS 2026 会場内(幕張メッセ) 国際会議場2階 201会議室

JASIS X ARIM JAPAN | JASIS プリント・セミナー・プログラム

タイムテーブル Time Table

時 間	内 容	登 壇 者
14:00 - 14:10 開会挨拶	本シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。また、「AI for Science」や「EPOCH」事業等を目指す我が国の科学技術戦略と、その基盤としてのARIMへの期待についてご紹介いたします。	 文部科学省 研究振興局 参事官 (ナノテクノロジー・物質・材料担当) 服部 正
14:10 - 15:10 招待講演	AI for Scienceの最前線： AIによって科学研究の手法はどう変わるのか？ AIの進化により、科学研究は大きな転換期を迎えています。本講演では、AI for Scienceの最新動向をもとに、生成AIやFoundation Modelが材料科学、創薬、生命科学の研究プロセスをどう変革するのかをご紹介します。	 日本マイクロソフト株式会社 シニアカスタマー サクセスマネージャー 中田 寿穂
15:10 - 15:35 計測横断セッション	計測データマイニングによるARIM支援： ノイズ、統計、定量、可視化、マルチモーダル化 計測機器のデジタル制御技術の進展により、一連の実験から得られる膨大なデータから有意な情報を抽出し、整理・活用することが重要になっています。その手段として、機械学習・AI技術の利用は必然的な流れです。本講演では、ARIM支援を通じて実施した事例をご紹介し、今後の共用設備における支援の在り方を提言します。	 名古屋大学 名誉教授 武藤 俊介
15:35 - 16:00 合成横断セッション	ARIMが進める材料合成における設備と データの共用とその展望 ARIM合成横断領域11機関では、設備共用、研究支援、データ収集・活用拡大を推進します。質量分析、クロマト、X線構造解析等による分子構造同定、クライオTEM・高速AFMによるナノ構造解析に取り組んでいます。R8年度より量子化学計算データ収集を進めるほか、さらに電子ラポノート活用による反応プロセスデータ収集を進めます。	 ARIM合成横断技術代表／ 奈良先端科学技術大学院大学 教授 河合 壯
16:00 - 16:20 ARIMデータ 共用サービス紹介	データ共用が拓くARIM研究支援の新時代 ARIM事業の概要と、設備・データ共用の仕組みを解説します。急増する最新のデータ蓄積数や収録内容の全体像を紹介するとともに、ユースケースに基づく具体的な利活用例を提示。研究を加速させるための会員登録の手順や、登録後のデータコーディネータによる支援体制もあわせて紹介します。	 ARIMデータコーディネータ／ 名古屋大学 特任教授 村山 宣光
16:20 - 16:30 クロージング	当日の講演の総括を行います。加えて、ちょうど中間地点を迎えたARIM事業の成果・課題を総括し、前半においてさらに高まった共用事業への期待や目まぐるしく向上したAIの台頭などの変化を踏まえた、後半戦に向けたビジョンを共有します。また、ARIM関連展示についての紹介も行います。	 ARIM運営機構長／ 九州大学 教授 藤ヶ谷 剛彦

問い合わせ先



ARIM Japan

文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業

物質・材料研究機構
ARIMセンターハブ担当領域推進室事務局
arim-gyomu@nims.go.jp